

平成30年度 糸魚川市社会福祉協議会事業計画

○下線部は30年度の強化事業

基本方針

社会の急速な変動の中、家族形態の変化に伴い単身世帯の増加、人間関係の希薄化など地域社会の変化により、社会的に孤立する世帯や生活困窮者の増加も大きな社会問題となっており、こうした社会的な背景から生活課題やニーズが複合化し、これまでの制度ではニーズ充足がしにくくなっています。

また、対応の難しい福祉課題も増加しており、そのような課題を解決するために、関係機関・福祉団体や地域住民が連携・協働した取り組みが求められています。

これらを踏まえ、糸魚川市社会福祉協議会では、福祉関係団体や行政との連携を図りながら地域の力を集め、地域福祉の一層の充実を図れるよう努めます。また、いつ災害が発生しても迅速に対応できる体制づくりに取り組み、地域の復興を支援するために、福祉的な支援に取り組みます。

第3期地域福祉活動計画の基本理念である「共に支えあい安全で安心した生活ができる地域づくり」「充実した生活を送ることができる地域づくり」の実現に向けて、信頼される社協を目指し、住民が主体となった地域福祉活動の推進と支援を必要とする方への適切な生活支援を図り、「福祉のまちづくり」の発展に努めます。

実施計画

1. 社協の基盤整備と組織の強化

- (1) 支部社協活動の推進支援と連携強化 【6,860千円】
- (2) 役職員研修の機会拡充と社協事業運営への積極的参加 【85千円】
- (3) 災害救援活動に関する派遣職員の相互支援
- (4) 各種委員会の開催 【130千円】

地区社協運営委員会、福祉事業委員会、表彰審査委員会、事故等対策委員会、生活福祉資金貸付調査委員会(たすけあい資金貸付運営委員会)、糸魚川市民のつどい福祉大会実行委員会

2. 安心な暮らしがうまれるまちづくりの推進

- (1) 小地域活動を活かした住民ニーズの実態把握
- (2) 福祉講座・ボランティア講座等の開催 【380千円】
- (3) 福祉講演会の開催 【360千円】
- (4) 一人暮らし高齢者等への配食サービス及び昼食招待事業の推進支援 【1,560千円】
- (5) 一人暮らし高齢者に対する歳末たすけあい事業 【400千円】
- (6) 在宅介護者、育児従事者のリフレッシュ事業の開催 【260千円】
- (7) バリアフリー映画上映会 【600千円】
- (8) 企業の社会貢献活動へのアプローチ

- (9) 民生委員児童委員との連携による地域福祉活動の推進
- (10) 関係機関、社会福祉施設、福祉団体との連携
- (11) 各種受託事業の実施による地域福祉の推進
- (12) 被災世帯への見舞金支給【50千円】

3. 暮らしを支える環境づくり

- (1) ふれあいいいきサロンづくりの推進【950千円】
- (2) 小地域ネットワークづくり事業の実施【40千円】
- (3) 各種資機材の貸出（福祉車両、チャイルドシート、疑似体験セット等）【120千円】
- (4) 一人暮らし高齢者等安否確認事業の実施【1,300千円】
- (5) 高齢者等支援連絡会の実施
- (6) なんでも介護団出張講座【60千円】
- (7) 地域活動支援センターの受託運営【25,580千円】
- (8) 共同住宅サンハイツの受託運営【3,440千円】
- (9) 屋内ゲートボール場（すぱーく能生）の管理運営【1,550千円】
- (10) ビーチホールまがたま管理運営
- (11) マイクロバスの運行【1,601千円】
- (12) 会長杯ゲートボール大会【20千円】

4. 介護事業部門（居宅介護支援事業、訪問介護事業）の充実強化

- (1) 事業所の安定した経営を図るとともに利用者（介護保険、介護予防、障害者自立支援）への質の高いサービス提供
- (2) 居宅介護支援事業（ケアマネジメント）の充実【45,060千円】
 - ・利用者の心身状態や生活環境に応じた支援計画と関係機関と連携した支援
- (3) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）の強化【99,300千円】
 - ・自立支援を目標に利用者から信頼される質の高い在宅サービスの提供
 - ・介護保険制度では対応できない在宅高齢者に対する在宅サービスの提供

5. 福祉教育とボランティア活動の推進

- (1) 学生を対象としたサマワークボランティアの実施【110千円】
- (2) 地域を支えるボランティアの発掘、ボランティアの情報提供
- (3) 福祉研究普及校の指定と助成【300千円】
 - （平成29年度～平成31年度の3年間指定）西海小学校、糸魚川東小学校、能生小学校、青海小学校、青海中学校、糸魚川高等学校
- (4) 福祉専門職育成のための積極的な実習生の受入れ
- (5) ボランティア活動の推進と後継者の育成
- (6) ボランティアフェスティバルの開催（ボランティア連協と共催）
- (7) ボランティア連絡協議会組織の充実と活動への支援
- (8) ボランティア保険活用の推進
- (9) 収集・回収活動の拡大（古切手、テレカ、エコキャップ等）

6. 財政基盤の確立

- (1) 関係者の協力、市民からの理解を得た社協会費及び共同募金の確保
- (2) 社協事業を推進するにあたり公的助成制度等の活用
- (3) 社会福祉基金の増額
- (4) 財政調整基金の効果的な運用

7. 相談・援助支援の推進

- (1) 心配ごと相談事業の充実と専門相談の実施【1,570千円】
- (2) 日常生活自立支援事業の取り組み【2,680千円】
- (3) 生活困窮者の自立に向けた福祉資金の貸付と相談支援【1,000千円】
- (4) 福祉資金貸付者への償還指導及び長期滞納者対策
- (5) 行路者援護【100千円】

8. 災害時の支援体制づくり

- (1) 糸魚川市駅北大火における生活支援の実施【7,650千円】
- (2) 平常時における関係機関とのネットワークづくり

9. 子育て支援事業の充実強化

- (1) ふれあい児童館事業の実施【400千円】
- (2) 子どもの遊び場遊具設置【1,300千円】
- (3) 私立保育園施設整備事業【270千円】

10. 各種団体への協力

- (1) 福祉団体の事務受託【500千円】
民生委員児童委員連絡協議会、老人クラブ連合会、身体障害者会、
母子寡婦福祉会、保護司会、更生保護協力雇用主会、更生保護女性会、
遺族会、共同募金委員会

11. 広報活動

- (1) 広報「社協だより」の発行【900千円】
- (2) ホームページの運営
- (3) 糸魚川市民のつどい福祉大会等の開催【1,200千円】
- (4) 福祉団体等が発行する機関紙への協力【260千円】

【糸魚川市社会福祉協議会組織図】

